

## 【】 古代～近世の政治史

## [要点]

弥生時代	倭国王が漢に使いを送る(57), 邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使いを送る(239)
古墳時代	天智政権・箭野後白墳・渡来文化
飛鳥時代 (593～)	聖徳太子が摂政(593): 冠位十二階, 十七条の憲法, 遣隋使(小野妹子), 飛鳥文化 天智の改新(645): 天智天皇(天智天皇)・天智鎌足が蘇我氏を倒す・公地公民 白河江の戦いで唐・新羅に敗れる(663)→壬申の乱(672): 天武天皇が即位 天智律令(701): 班田收授法・租庸調の税制・防人
奈良時代 (710～)	平城京遷都(710): 唐の長安にならう 天武天皇(724年に即位): 東大寺大仏・国分寺・国分尼寺・正倉院・天智文化
平安時代 (794～)	天武天皇が平安京遷都(794): 坂上田村麻呂に蝦夷をうたせる・空海と最澄 遣唐使の停止(894)→国風文化 摂関政治: 地方政治の乱れ→武士の発生: 平将門の乱(935)・藤原純友の乱(939) 藤原道長(1016に摂政)・頼通親子のときが最盛期 白河上皇の院政(1086) 保元平治の乱・平治の乱→平清盛が太政大臣(1167): 兵庫の港を整備して中国の栄と貿易/奥州藤原氏
鎌倉時代 (1185～)	源頼朝: 守護地頭の設置(1185)(御恩と奉公)征夷大将軍→北条氏の執権政治 承応の乱(1221): 後鳥羽上皇が敗れ, 六波羅探題→御成敗式目(1232): 北条泰時 元寇(1274, 1281): 北九州に来襲→御家人の不満→永仁の徳政令(1297)
室町時代 (1338～)	後醍醐天皇の建武の新政(1334)→武士の不満→南北朝の争乱(守護が守護大名に) 足利尊氏が室町幕府を開く(1338): 將軍の補佐役は管領 足利義満: 南北朝の合一(1392)・勘合貿易(1404)(船・倭寇) 正長の王一揆(1428)→應仁の乱(1467)→山城国一揆(1485)・加賀の一揆(1488)
戦国時代	下剋上の風潮, 戦国大名(分国法) 鉄砲伝来(1543)・キリスト教伝来(1549にザビエルが来日)
安土桃山時代	織田信長: 長篠の戦い(1575)(鉄砲・武田氏), 安土城下で楽市・楽座 豊臣秀吉: 天閣検地と刀狩で兵農分離, 全国統一(1590), 朝鮮侵略
江戸時代 (1603～)	関ヶ原の戦い(1600)→徳川家康が征夷大将軍(1603)になり江戸幕府を開く 徳川家光: 武家諸法度に参勤交代を付加(1635)(大名統制), 島原・天草一揆(1637), 鎖国(1639)(長崎の出島) 徳川吉宗: 享保の改革(1716) 田沼意次(1772)→天明の大ききん→松平定信の寛政の改革(1787) 天保の大ききん→天保の乱(1837)→水戸忠邦: 天保の改革(1841) ペリー来航(1853)→尊王攘夷運動→天保の乱(1867)→天保の乱(1867)→天保の乱(1867)

[年代暗記法]

弥生時代：剛な(57)る奴国王漢に使者／卑弥呼より文来(239)る

飛鳥時代：五組(593)いっしょに裁く聖徳太子／むれみ(603)つ人に十二階／役人むつまじ  
(604)くあれと十七条／群れな(607)して行く遣隋使／め(む)され(630)て唐へ遣唐  
使／大化の改新むし殺し(645)／む！無策(663)の白村江／無(6)理な(7)争い2(2)人  
でし

奈良時代：大宝律令慣れはじめ(701)／南都(710)平城京／仏教を何よ(724)り尊ぶ聖武天皇

平安時代：鳴くよ(794)ウグイス平安京／白紙(894)に返せ遣唐使／組み込む(935)大軍将門の  
乱／苦策(939)純友乱起こす／威令<sup>あやむ</sup>広(1016)まる道長さん／威令は無(1086)限院  
政開始／いいころ(1156)におこった保元の乱／人々ご苦勞(1159)平治の乱／いち  
いち無理な(1167)清盛さん

鎌倉時代：守護地頭の人々和合(1185)／いい国(1192)めざす頼朝さん／人に二色(1221)承久  
の乱／御成敗式目<sup>むとせ</sup>(1232)に／文永の役生きて帰る一人なし(1274)／一風灰  
(1281)に弘安の役／皮肉な(1297)結果に徳政令／一味さんざん(1333)鎌倉滅ぶ

室町時代：いざ見よ(1334)建武の新政を／將軍尊氏勇み肌(1338)／いざ国(1392)を統合南北  
朝／勘合貿易人寄れよ(1404)／人よにやつく(1428)土一揆／応仁の乱人よむな  
(1467)しく死んでいく／人よパッパ(1488)と一向一揆

戦国安土：一期四散(1543)の鉄砲伝来／以後よく(1549)発展キリスト教／以後情(1573)けは  
無用と義昭追放／東国まる(1590)めて全国統一／異国に(1592)出兵文禄の役

江戸時代：人群多(1600)い関ヶ原／人群れ満(1603)ちる江戸幕府／大名行列色みごと(1635)  
／人無惨な(1637)り島原・天草一揆／一路鎖国(1639)／美男ヒーロー(1716)吉宗  
公／非難何(1772)するものぞと田沼さん／非難はな(1787)いかと定信さん／人は  
みな(1837)大塩したい打ちこわし／日はよい(1841)改革水野さん／いや御三  
(1853)家とペリー来航／いやむな(1867)しく大政奉還

【】 古代

[問題]

7世紀のできごとについて述べた文として、最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その符号を書け。

ア 桓武天皇は、新しい都である平安京をつくり、政治を立て直そうとした。

イ 中大兄皇子や中臣鎌足らは、蘇我氏をたおし、政治の改革を始めた。

ウ 邪馬台国の女王卑弥呼は、中国に使者を送り、親魏倭王の称号を得た。

エ ワカタケル大王は、九州から関東にいたる各地の豪族を従えるようになった。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ウ(弥生：邪馬台国の女王卑弥呼が中国の魏に使者を送る 239年)→エ(古墳：大和政権のワカタケル大王の統一事業 5世紀)→イ(飛鳥：大化の改新 645年)→ア(平安：平安京遷都 794年)

[問題]

蘇我馬子と協力して政治を行い、遣隋使を送って中国の政治制度や文化を取り入れた人物が行ったことからは何か、ア～エから1つ選べ。

ア 冠位十二階の制度を定める。

イ 大宝律令を定める。

ウ 承久の乱をおこす。

エ 建武の新政を始める。

(京都府)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

蘇我馬子と協力して政治を行い、遣隋使を送って中国の政治制度や文化を取り入れたのは聖徳太子。

ア(飛鳥：聖徳太子の冠位十二階 603年)→イ(奈良時代の前：大宝律令 701年)→ウ(鎌倉：承久の乱 1221年)→エ(建武の新政：後醍醐天皇 1334年)

[問題]

7世紀後半の事象として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 蘇我氏が物部氏をほろぼした。
- イ わが国が唐と新羅の連合軍に敗れた。
- ウ 鑑真が唐からわが国に渡来した。
- エ 都が平安京に移された。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア(飛鳥：聖徳太子が摂政になる 593年の少し前，蘇我馬子が物部守屋を滅ぼして政権を独占)→イ(飛鳥：白村江の戦い 663年)→ウ(奈良：鑑真の来日)→エ(平安初期：平安京遷都 794年)

[問題]

次のア～ウを年代の古いものから順に、記号で答えよ。

- ア 政治上の大きな改革がはじまり，わが国ではじめて年号が立てられた。
- イ 蝦夷の支配のために坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命された。
- ウ 九州の防備のために防人が派遣されるようになった。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→イ

[解説]

ア(飛鳥：大化の改新 645年)→ウ(飛鳥：白村江の戦い 663年のあとに防人を設置)→イ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷をうたせた)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べるとどのようになるか。その記号を順に書け。

- ア 関東で起こった平将門の反乱は，武士の力によってしずめられた。
- イ 桓武天皇は，政治を立て直すために，今の京都の地に都を移した。
- ウ 平清盛は，平治の乱で源氏をやぶり，大きな力をふるった。
- エ 長く続いた遣唐使は，唐の力がおとろえたために停止された。

(和歌山県)

【解答欄】

【解答】イ→エ→ア→ウ

【解説】

イ(平安初期：平安京遷都 794 年)→エ(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→ア(平安中期：平将門の乱 935 年)→ウ(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)

【問題】

ア～エのできごとを年代の古い順に並べよ。

- ア 白河上皇が院政を始める。
- イ 坂上田村麻呂が征夷大將軍になる。
- ウ 平清盛が平治の乱に勝利する。
- エ 藤原道長が摂政になる。

(北海道)

【解答欄】

【解答】イ→エ→ア→ウ

【解説】

イ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷をうたせる)→エ(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→ア(平安後期の院政：白河上皇が院政開始 1086 年)→ウ(平安末期：平治の乱 1159 年)

【問題】

平城京がつくられた奈良時代のようにすとして最も適当なものを、ア～エから 1 つ選び、符号を書け。

- ア 大名の参勤交代が行われた。
- イ 楽市・楽座が実施され商業が発展した。
- ウ 調・庸が都まで運ばれた。
- エ 渡来人により漢字が伝えられた。

(大分県)

【解答欄】

【解答】ウ

[解説]

エ(古墳：朝鮮半島から渡来人が移住し、須恵器や絹織物などの技術・漢字や仏教や儒教を伝えた)→ウ(奈良：班田収授法・租庸調の税制)→イ(安土：楽市・楽座)→ア(江戸初期：参勤交代)

[問題]

平城京を中心に政治が行われていた奈良時代の出来事について述べた文はどれか。最も適当なものを次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 百済を救援するために朝鮮半島に出兵したが、唐と新羅の連合軍に敗れた。
- イ 東北地方の蝦夷を平定するために、坂上田村麻呂が征夷大將軍に任じられた。
- ウ 国ごとに国分寺と国分尼寺を、都には大仏を本尊とする東大寺を建てた。
- エ 中大兄皇子は中臣鎌足らとはかり、蘇我氏を滅ぼして政治改革を始めた。

(三重県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

エ(飛鳥：大化の改新 645年)→ア(飛鳥：白村江の戦 663年)→ウ(奈良：聖武天皇(724年に即位))→イ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して蝦夷を平定させる)

[問題]

次のア～エのうち、都を平城京に移した710年のころの地方の政治に関して述べたものはどれか。1つ選んで、その記号を書け。

- ア 守護大名が国司の権限を吸収していった
- イ 任地に代理を送る国司が多くなった
- ウ 中央の貴族が国司として派遣された
- エ 府知事・県令が中央から派遣された

(香川県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウ(奈良(710年～)：律令制によって貴族が国司として赴任)→イ(平安中期の摂関政治：地方の政治は国司任せになったので、自分の収入を増やすことだけにはげんだり、任地には代理を送って収入だけを得たりする国司が多くなった)→ア(室町(1338年～)：南北朝の動乱の中で守護は守護大名に成長)→エ(明治初期：廃藩置県 1871年)

[問題]

万葉集がつくられたころのできごとを述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えよ。

- ア 御成敗式目が定められ長く武家政治の手本とされた。
- イ 大和地域に、大型の前方後円墳がつくられはじめた。
- ウ 個人の才能を重視する、冠位十二階の制度が定められた。
- エ 中国の政治のしくみなどを学ぶため、遣唐使が派遣された。

(山口県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

万葉集は奈良時代(710年～)の和歌集。イ(古墳)→ウ(飛鳥：冠位十二階 603年)→エ(飛鳥・奈良・平安中期：630年～894年)→ア(鎌倉：御成敗式目 1232年)

[問題]

8世紀のころの日本の社会のようすについて述べた文はどれか。次のア～エのうちから最も適切なものを1つ選び、その符号を書け。

- ア 大陸からやってきた渡来人が、日本に漢字や仏教を伝えた。
- イ 聖徳太子は、冠位十二階の制度や十七条の憲法(憲法十七条)を定めた。
- ウ 聖武天皇は、東大寺を建て、仏教の力で国家を守ろうとした。
- エ 平清盛は、大輪田泊(現在の神戸港)を整備し、中国との貿易に力を入れた。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ア(古墳)→イ(飛鳥：冠位十二階 603 年，十七条の憲法 604 年)→ウ(奈良(710～)：東大寺大仏造立の詔 743 年)→エ(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)

[問題]

遣唐使が派遣されていた時期のできごとについて述べた文として、最も適当なものを、次のア～エから 1 つ選び、その符号を書け。

- ア 聖徳太子は、十七条の憲法を定め、役人としての心構えを示した。
- イ 聖武天皇は、都に東大寺を建て、金銅の大仏をつくった。
- ウ 源頼朝は、鎌倉を拠点として政治を行い、各地に守護、地頭を置いた。
- エ 後醍醐天皇は、年号を建武と改め、天皇中心の政治を行った。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

遣唐使は 630 年～894 年。

ア(飛鳥：聖徳太子は 607 年に遣隋使を送る，聖徳太子は 622 年没)→イ(奈良：さかんに遣唐使を送り，唐の文化を吸収)→ウ(鎌倉：守護・地頭の設置 1185 年)→エ(建武の新政(1334 年～))

[問題]

「鑑真の渡来～空海が唐から帰国し真言宗を開いた」ころの政治について述べた文はどれか。下のア～エのうちから最も適当なものを 1 つ選び、その符号を書け。

- ア 後醍醐天皇が、天皇中心の政治をめざしたが、足利尊氏と対立し、吉野に逃れた。
- イ 源頼朝が、守護や地頭をおくとともに、征夷大將軍に任命され全国支配を進めた。
- ウ 桓武天皇が、平安京に都を移し、国司に対する監督を強化して、政治の立て直しを図った。
- エ 徳川家康が、関ヶ原の戦いののち江戸に幕府を開き、戦国の混乱を治めて天下統一を進めた。

(千葉県)

[解答欄]



[解答]ウ

[解説]

鑑真は奈良時代に来日。空海と最澄は桓武天皇の時代(平安初期)の僧。

ウ(平安:平安京遷都 794年)→イ(鎌倉:守護・地頭の設置 1185年)→ア(建武の新政:後醍醐天皇が吉野に逃れた後,1338年に足利尊氏は室町幕府を開く)→エ(江戸:関ヶ原の戦い 1600年)

[問題]

遣唐使派遣が停止された後のできごとを,次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

ア 中大兄皇子は,中臣鎌足らとともに蘇我氏をたおし,中国にならった国づくりをめざした。

イ 桓武天皇は,都を平安京に移すと,都づくりと東北地方の支配に力を注いだ。

ウ 藤原道長は,娘を天皇のきさきにし,その子を天皇に立てて,政治の実権を握った。

エ 壬申の乱に勝って即位した天武天皇は,律令にもとづく政治のしくみをつくろうとした。

(島根県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

遣唐使の停止は平安中期の 894 年。

ア(飛鳥:大化の改新 645年)→エ(飛鳥:壬申の乱 672年)→イ(平安初期:平安京遷都 794年)→ウ(平安中期:藤原道長が摂政になる 1016年)

[問題]

唐の文化へのあこがれがうすれ,貴族を中心にかな文字や大和絵など,日本の風土や生活感情に合った文化がおこったころの政治の様子を1つ選んで記号を書け。

ア 摂関政治の全盛期であった。

イ 執権が政治の実権を握っていた。

ウ 天皇が仏教の力で国を守ろうとした。

エ 北朝と南朝の2つの朝廷が争っていた。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

平安時代中期の 894 年、遣唐使が廃止され、唐文化の影響がうすれて文化の国風化が進んだ。  
ウ(奈良：聖武天皇)→ア(平安中期：藤原道長が摂政になる 1016 年)→イ(鎌倉)→エ(室町初期)

[問題]

寝殿造りの建物がつくられ、国風文化が栄えたころのできごととして最も適当なものを、  
ア～エから 1 つ選び、符号を書け。

- ア 北条泰時が御成敗式目を制定した。
- イ 後醍醐天皇が建武の新政を始めた。
- ウ 聖武天皇が仏教の力で国を守ろうとした。
- エ 藤原道長が摂政となり実権をにぎった。

(大分県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

寝殿造は、平安時代に貴族の住まいに取り入れられた日本風の住宅の様式。国風文化は平安中期の摂関政治の時代。ウ(奈良)→エ(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→ア(鎌倉：御成敗式目 1232 年)→イ(建武の新政：1334 年)

[問題]

11～12 世紀の時期におこったできごとを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 白河上皇が院政を始める。
- イ 平将門や藤原純友が反乱をおこす。
- ウ 承久の乱がおこる。
- エ 遣唐使が廃止される。

(山形県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

エ(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→イ(平安中期：平将門の乱 935 年、藤原純友の乱 939 年)→ア(平安後期：白河上皇が院政を開始 1086 年)→ウ(鎌倉：承久の乱 1221 年)

[問題]

平清盛について述べた文として最も適当なものはどれか，ア～エから 1 つ選べ。

- ア 政治の実権をにぎり，院政を始めた。
- イ 太政大臣となり，一族を高い位につけた。
- ウ 征夷大將軍となり，鎌倉に幕府を開いた。
- エ 執権となり，御成敗式目を制定した。

(京都府)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア(平安後期：白河上皇が院政を開始 1086 年)→イ(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)→ウ(鎌倉：源頼朝が征夷大將軍に任命される 1192 年)→エ(鎌倉：執権の北条泰時が御成敗式目を制定 1232 年)

【】 中世

【問題】

源頼朝について述べたものは、次のア～エのうちのどれか。1つ選んで、その記号を書け。

ア 武士としてはじめて太政大臣となり、一族も高い位についた。

イ 京都に北朝を立て、吉野にのがれた後醍醐天皇と対立した。

ウ 裁判の基準を御家人に示すため、御成敗式目をつくった。

エ 平泉を拠点として栄えていた奥州の藤原氏を、攻めほろぼした

(香川県)

【解答欄】

【解答】エ

【解説】

ア(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)→エ(鎌倉：源頼朝が奥州藤原氏を滅ぼす)→

ウ(鎌倉：執権北条泰時が御成敗式目を制定 1232 年)→イ(室町：足利尊氏が室町幕府を開く 1338 年)

【問題】

あてがわの荘の農民が地頭の横暴を訴え出たころのできごととして最も適切に述べているものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

ア 藤原道長、頼通父子は、摂関政治の全盛期を築いた。

イ 白河天皇は、上皇となった後も政治を行う院政を開始した。

ウ 平清盛が太政大臣となり、その一族は朝廷の高い役職についた。

エ 源頼朝の死後、北条氏が執権の地位につき幕府の実権をにぎった。

(和歌山県)

【解答欄】

【解答】エ

【解説】

鎌倉時代がはじまる 1185 年、源頼朝は、荘園ごとに御家人を地頭に任命した。地頭はしだいに荘園に対する支配権を強めていった。地頭の荘園侵略は、執権政治の時代の 1221 年に承久の乱後に激しくなった。荘園の農民は地頭と荘園領主の二重の支配を受ける形になった。13 世紀の後半、あてがわ荘の農民は、地頭の過酷な負担を、荘園領主に訴えた。

ア(平安中期：藤原道長が摂政になる 1016 年)→イ(平安後期：白河上皇が院政開始 1086 年)→

ウ(平安末期：平清盛が太政大臣になる 1167 年)→エ(鎌倉)

[問題]

御成敗式目の内容として正しいものを、ア～エから 1 つ選び、その記号を書け。

ア 天皇の命令を受けたならば、必ず謹んで従え。

イ 広く会議を開き、すべての政治は公議世論で決定すべきである。

ウ 朝は早く起きて草をかり、昼は田畑を耕し、晩は縄や俵を作れ。

エ 諸国の守護の仕事は、京都の御所の警護と謀反や殺人などの犯罪人の取りしまりに限る。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ア(飛鳥：十七条憲法 604 年)→エ(鎌倉：執権北条泰時が御成敗式目を制定 1232 年)→ウ(江戸：慶安の御触書 1649 年)→イ(明治：五箇条の御誓文)

[問題]

鎌倉時代のわが国のようすを述べているのはどれか、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

ア 下剋上の風潮が広がり、戦国大名が登場した。

イ キリスト教の信仰が禁止された。

ウ 聖武天皇が国分寺、国分尼寺をつくらせた。

エ フビライ・ハンに服属を求められた。

(福岡県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ウ(奈良：聖武天皇(724 年に即位))→エ(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→ア(戦国：戦国大名)→イ(桃山～江戸)

[問題]

足利義満が行ったこととして、正しいものはどれか、ア～エから 1 つ選べ。

ア 御成敗式目を制定し、裁判を公平に行うための基準を示した。

イ だれでも自由に商工業ができるように、楽市・楽座令を出した。

ウ 宋との貿易を活発にするために、兵庫の港を整えさせた。

エ 南北朝の統一に成功し、60 年近く続いた内乱を終わらせた。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ウ(平安末期：平清盛の日宋貿易)→ア(鎌倉：北条泰時が御成敗式目を制定 1232 年)→エ(室町：足利義満が南北朝を合一 1392 年)→イ(安土：織田信長が楽市・楽座を実施)

[問題]

銀閣を建てた人物に関連することを説明したものとして正しいものを、次のア～エの中から 1 つ選び、記号を書け。

ア 武士と公家をまとめて、天皇を中心とした建武の新政を行った。

イ 統一した基準で全国的に検地を行い、土地の収穫量も石高で表すようにした。

ウ 将軍になったものの、後継ぎをめぐる争いなどをきっかけに、応仁の乱がおこった。

エ 儒学に基づく政治をおし進めたが、生類憐みの令により人々を苦しめた。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

1467 年、八代将軍足利義政の後継ぎ争いと、守護大名どうしの対立から、応仁の乱が起こった。足利義政は京都の東山に東山山荘ともよばれる銀閣を建て風流な生活を楽しんだ。

ア(建武の新政 1334 年)→ウ(室町：応仁の乱 1467 年)→イ(桃山：豊臣秀吉の太閤検地)→エ(江戸：徳川綱吉の文治政治)

[問題]

足利義政は銀閣を建てたが、この建物がつくられたのと同じ時代のできごとを、次の中から 1 つ選べ。

ア 山城国一揆がおきた。

イ 太閤検地が行われた。

ウ 白河上皇が院政をはじめた。

エ 文永の役、弘安の役がおきた。

(青森県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

ウ(平安：院政の開始 1086 年)→エ(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→ア(室町：山城国一揆 1485 年)→イ(桃山：豊臣秀吉の太閤検地)

[問題]

応仁の乱以後 100 年間の説明として正しいものはどれか。

- ア 武家諸法度や参勤交代の制度が定められた。
- イ 諸国の武士が南朝側と北朝側に分かれて戦った。
- ウ 各地に戦国大名があらわれ、下剋上の風潮が広まった。
- エ 朝廷を監視するために六波羅探題がおかれた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

エ(鎌倉：承久の乱(1221 年)後に六波羅探題を設置)→イ(室町初期：南北朝の動乱)→(室町：応仁の乱 1467 年)→ウ(戦国)→ア(江戸初期：徳川家光が武家諸法度に参勤交代を付加 1635 年)

【】 近世

[問題]

江戸幕府が大名に対して行ったことについて、適切なものを下のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 関ヶ原の戦いで織田家を滅ぼした。
- イ 太閤検地を行い、年貢を納めさせた。
- ウ 御成敗式目で裁判などについて定めた。
- エ 武家諸法度により大名を統制した。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ア：1600年の関ヶ原の戦いは徳川方と豊臣方の争いである。織田家を滅ぼしたのではない。  
イの太閤検地は豊臣秀吉が実施。ウは鎌倉時代の1232年に制定された御成敗式目である。

[問題]

次のア～エのできごとを、年代の古い順に並べよ。

- ア もと大阪町奉行所の役人であった大塩平八郎は、貧しい人たちを救おうとして、乱をおこした。
- イ 老中の田沼意次は、幕府の収入を増やそうとして、株仲間から税をとった。
- ウ 八代将軍の徳川吉宗は、幕府の財政を立て直そうとして、年貢の取り方をかえた。
- エ 老中の松平定信は、旗本・御家人を生活難から救おうとして、彼らの借金を帳消しにした。

(北海道)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

[解説]

ウ(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716年)→イ(江戸：田沼意次の改革 1772年)→エ(江戸：松平定信の寛政の改革 1787年)→ア(江戸：大塩平八郎の乱 1837年)



[問題]

次のア～エのうち、吉宗による改革について述べたものはどれか。1つ選び記号を書け。

- ア 長崎での貿易を拡大したり、株仲間を増やして税の増収をはかったりするなど、幕府の収入不足に対して商工業を活用しようとした。
- イ 株仲間による商品流通の独占が物価上昇の原因であるとして、株仲間を解散させるとともに、江戸や大阪周辺を幕府の領地にしようとした。
- ウ 江戸などへ出かせぎに来ている者を村に帰し、飢饉に備えて村に米を蓄えさせるとともに、生活に苦しむ旗本や御家人の借金を帳消しにした。
- エ 大名から幕府に米を献上させたり、公事方御定書などの法律を整備したりするとともに、目安箱を設置して人々の意見を求めた。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エ(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716 年)→ア(江戸：田沼意次の改革 1772 年)→ウ(江戸：松平定信の寛政の改革 1787 年)→イ(江戸：水野忠邦の天保の改革 1841 年)

[問題]

田沼意次が行った政策を説明した文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 武士に武芸をすすめ、上げ米の制を定めて大名の参勤交代をゆるめ、幕府に米を献上させた。
- イ ききんに備えて農村に米を蓄えさせ、また旗本や御家人を救うために、借金を帳消しにした。
- ウ 長崎貿易で銅や海産物の輸出を増やし、株仲間を積極的に奨励して税を徴収した。
- エ きびしい儉約令を出してぜいたく品を禁止し、株仲間の解散を命じた。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ア(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716 年)→ウ(江戸：田沼意次の改革 1772 年)→イ(江戸：松平定信の寛政の改革 1787 年)→エ(江戸：水野忠邦の天保の改革 1841 年)

[問題]

江戸時代における次のア～エのできごとを，年代の古い順に並べかえ，記号で答えよ。

- ア 大塩の乱がおこる
- イ 参勤交代の制度が定められる
- ウ 享保の改革が行われる
- エ 天明の大ききんがおこる

(山形県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→エ→ア

[解説]

イ(江戸：徳川家光が参勤交代を定める 1635 年)→ウ(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716 年)→  
エ(江戸：天明の大ききん 1782 年)→ア(江戸：大塩の乱 1837 年)

[問題]

次のア～エを，年代の古い順に並べ，その記号を書け。

- ア 享保の改革
- イ 天保の改革
- ウ 大政奉還
- エ 寛政の改革

(広島県)

[解答欄]

[解答]ア→エ→イ→ウ

[解説]

ア(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716 年)→エ(江戸：松平定信の寛政の改革 1787 年)→イ(江  
戸：水野忠邦の天保の改革 1841 年)→ウ(幕末：大政奉還 1867 年)

【】 総合

[問題]

次のア～ウを古い順に並べ、その記号を書け。

- ア 摂政・関白という官職について政治の実権をにぎった藤原氏は、道長・頼通父子の時にその全盛期をむかえた。
- イ 京都で院政を行っていた後鳥羽上皇が挙兵し、朝廷の勢力回復を図ったものの、幕府軍に破れ逆に朝廷の権威が失墜することとなった。
- ウ 朝廷は、アテルイを指導者とする蝦夷の抵抗をおさえるため、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じ、胆沢地方を平定させた。

(青森県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ

[解説]

ウ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷を討たせる)→ア(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→イ(鎌倉：承久の乱 1221 年)

[問題]

次の A～E を年代の古い順に並べよ。

- A 京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、朝廷の勢力の回復をはかって挙兵したが、幕府の大軍に敗れた。
- B 民衆の間で行われていた田楽や猿楽をもとにして、世阿弥らが能を大成し、武家の社会で愛好された。
- C 徳川家康は貿易の発展につとめ、海外への渡航を許可した。西国の大名や京都・長崎などの商人は、貿易船を派遣した。
- D 大化の改新を行った中大兄皇子は、全国の戸籍をつくるなどの政治を進め、やがて即位して天智天皇となった。
- E 平安京に都が移ると、仏教にも新しい動きが起こり最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ広めた。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]D→E→A→B→C

[解説]

D(飛鳥：大化の改新 645 年)→E(平安初期：桓武天皇の平安京遷都 710 年)→A(鎌倉：承久の乱 1221 年)→B(室町：観阿弥・世阿弥の能)→C(江戸初期：朱印船貿易)

[問題]

ア～ウを年代の古い順に並べよ。

ア 源頼朝は、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭をおくことを朝廷に認めさせた。

イ 公家重視の政策が続いたため武士たちに不満が広がり、建武の新政は 2 年ほどでくずれた。

ウ 白河上皇によって院政が行われ、上皇は摂政・関白をおさえて政治の実権をにぎった。

(愛知県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ

[解説]

ウ(平安後期：白河上皇が院政を開始 1086 年)→ア(鎌倉：守護・地頭の設置 1185 年)→イ(建武の新政：後醍醐天皇 1334 年)

[問題]

A～E の人物を活躍した時代の古い順に並べよ。ただし、E が最も新しい時代に活躍した人物である。

A 鎌倉を本拠地に定め、東国の武士を組織した。朝廷から征夷大將軍に任命されて、武士による政治を始めた。

B 尾張を拠点とした勢力の小さい戦国大名であった。鉄砲を有効に使った戦法により、統一事業を大きく前進させた。

C 60 年間にわたる南北朝の動乱をおさめ、幕府政治を安定させた。京都の北山の別荘に金閣を建てた。

D 4 人の娘を天皇に嫁がせて、摂政として天皇に代わって政治を行い、摂関政治の全盛期を築いた。

E 8 代将軍として、幕府の財政を立て直すための政治改革を行った。公事方御定書を定め、法律の整備を行った。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]D→A→C→B→E

[解説]

D(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→A(鎌倉：源頼朝が征夷大将軍に任命される 1192 年)→C(室町：足利義満が南北朝合一 1392 年)→B(安土：織田信長)→E(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に左から並べて、その記号を書け。

ア 後醍醐天皇は天皇中心の政治をめざし、建武の新政をおこなった。

イ 正長の土一揆は各地の農村に広がり、幕府に借金帳消しの徳政令を求めた。

ウ 執権の北条泰時は、裁判の基準を御家人に示すために、御成敗式目(貞永式目)を制定した。

エ 織田信長は、家臣の明智光秀に京都の本能寺でおそわれ自害した。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ→エ

[解説]

ウ(鎌倉：御成敗式目 1232 年)→ア(建武の新政：1334 年)→イ(室町：正長の土一揆 1428 年)→エ(安土：本能寺の変 1582 年)

[問題]

次の A～C のできごとを年代の古い順に並べ、その記号を左から書け。

A 豊臣秀吉が全国を統一した。

B 建武の新政の後、南北朝の争乱が続いた。

C 天保の改革が行われた。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]B→A→C

[解説]

B(室町：南北朝の争乱 1336 年～1392 年)→A(桃山：豊臣秀吉の全国統一 1590 年)→C(江戸末期：水野忠邦の天保の改革 1841 年)

[問題]

次の A～D の時代を，時代の古い順に並べ，その記号を書け。

- A 足利義満は幕府に政治の実権を集中させた。
- B 太閤検地が行われた。
- C 将軍源頼朝の死後は，北条氏が政治の実権を握った。
- D 将軍徳川家光のころ，長崎に出島がつくられた。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]C→A→B→D

[解説]

C(鎌倉)→A(室町)→B(桃山)→D(江戸初期)

[問題]

年代の古いものから順に並べ，その符号を書け。

- ア 武田信玄は，領国を支配するため，「甲州法度之次第」を定めた。
- イ 足利義満は，南北朝を統一したのち，勘合貿易を始めた。
- ウ 徳川家康は，関ヶ原の戦いに勝利して征夷大将軍に任じられた。
- エ 北条時宗は，二度にわたる元の襲来をしりぞけた。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]エ→イ→ア→ウ

[解説]

エ(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→イ(室町：足利義満が勘合貿易を開始 1404 年)→ア(戦国)→ウ(江戸：徳川家康が征夷大将軍に任じられ江戸幕府を開く 1603 年)

[問題]

次の A～D を，時代の古い順に並べかえ，記号で答えよ。

- A 北条泰時は，執権として幕府の基礎を固めた。
- B 豊臣秀吉は，関白や太政大臣として政治の実権を握り，全国統一をなしとげた。
- C 田沼意次は，老中として商工業重視の政策を行い，財政の立て直しをめざした。
- D 藤原頼通は，摂政や関白として政治を行い，藤原氏の最もさかんな時期を築いた。

(山形県)

[解答欄]

[解答]D→A→B→C

[解説]

D(平安中期の摂関政治)→A(鎌倉：北条泰時が御成敗式目を制定 1232 年)→B(桃山：豊臣秀吉が全国統一 1590 年)→C(江戸：田沼意次の改革 1772 年)

[問題]

4 人の人物について調べ、A～D のカードを作った。A～D を古いものから順に並びかえ、記号で書け。

- A 私は 18 世紀の末に、江戸幕府の老中になり、寛政の改革とよばれる政治改革を行った。
- B 私は蘇我馬子と協力して政治を行った。また、遣隋使を送って中国の政治制度や文化を取り入れた。
- C 私は室町幕府の 3 代将軍として、幕府権力を強化した。また、明との勘合貿易も始めた。
- D 私は遣唐使とともに唐へわたって仏教を学び、帰国後、新しい宗派である真言宗を広めた。

(京都府)

[解答欄]

[解答]B→D→C→A

[解説]

B(飛鳥：聖徳太子が摂政になる 593 年)→D(平安初期：桓武天皇の時代の空海)→C(室町：足利義満が勘合貿易を開始 1404 年)→A(江戸中期：松平定信の寛政の改革 1787 年)

[問題]

次の A～D を、年代の古いものから順に並べよ。

- A 天皇を中心とした中央集権化を目ざし、政府のしくみを強化した。藩を廃して府・県を置き、中央から府知事・県令が任命された。
- B 将軍の補佐役である管領には、有力な守護大名が任命された。地方機関として、関東には鎌倉府が置かれた。
- C 藤原氏は、娘を天皇のきさきにし、その子を天皇にたて、他の貴族を退けて政治の実権をにぎった。地方には、中央の貴族が国司として任命された。
- D 源頼朝の死後、政治の中心は執権の地位にあった北条氏に移った。諸国には守護、公領・荘園には地頭が置かれた。

(高知県)

[解答欄]

[解答]C→D→B→A

[解説]

C(平安中期の摂関政治)→D(鎌倉)→B(室町)→A(明治)



## 【】 戦乱

### [問題]

次のア～エを古いものから順に並べると、どのようになるか、その記号を書け。

ア 幕府軍は、北九州に来襲した元軍の集団戦法とすぐれた火器により、苦戦をした。

イ 後醍醐天皇は、幕府の滅亡後に、天皇を中心とする新たな政治を始めた。

ウ 細川氏と山名氏が将軍のあとつぎ問題などをめぐり対立し、11年にわたる戦乱が始まった。

エ 後鳥羽上皇は、幕府をたおそうと兵をあげたが、幕府軍に敗れた。

(三重県)

### [解答欄]

[解答]エ→ア→イ→ウ

### [解説]

エ(鎌倉：承久の乱 1221年)→ア(鎌倉：元寇 1274年・1281年)→イ(建武の新政：1334年)→ウ(室町：応仁の乱 1467年)

### [問題]

次のア～エを年代の古い順に並べよ。

ア 将軍足利義政のときにおこり、11年にわたって京都を中心に戦われたため、皇居や貴族・武家の屋敷などが焼失した。

イ 元軍は、高麗の軍勢をもあわせて大軍で北九州に攻め入ったが、暴風雨により、大損害を受けて引きあげた。

ウ 源実朝が暗殺されたのを好機とみた後鳥羽上皇らは、幕府をたおして朝廷の力をとりもどそうと兵をあげたが、幕府軍の前に敗れさった。

エ 足利尊氏が京都に新たに天皇をたて、後醍醐天皇は吉野に朝廷をうつしたので、2つの朝廷が対立し、全国的な戦乱となった。

(茨城県)

### [解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

### [解説]

ウ(鎌倉：承久の乱 1221年)→イ(鎌倉：元寇 1274年・1281年)→エ(室町：南北朝の争乱 1336年～1392年)→ア(室町：応仁の乱 1467年)

[問題]

次のア～エを、年代の古い順に並べ、その記号を書け。

- ア 幕府は、天皇や薩摩藩の支持を取り付け、急進派の公家や長州藩士を追放した。
- イ 後鳥羽上皇は朝廷の勢力回復を図って挙兵したが、幕府が大軍を率いて上皇側を破った。
- ウ 院政の実権をめぐって2つの戦乱が起こり、源氏と平氏がその争いに動員されて戦った。
- エ 守護大名間の争いに将軍のあとつぎ問題などがからみ、11年にわたる戦乱が始まった。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

[解説]

ウ(平安末期：保元の乱 1156年・平治の乱 1159年)→イ(鎌倉：承久の乱 1221年)→エ(室町：応仁の乱 1467年)→ア(幕末)

[問題]

13～15世紀におこった戦乱について、時代の古い順に正しく並べたものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 承久の乱－応仁の乱－南北朝の動乱
- イ 承久の乱－南北朝の動乱－応仁の乱
- ウ 南北朝の動乱－承久の乱－応仁の乱
- エ 応仁の乱－南北朝の動乱－承久の乱

(宮城県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

(鎌倉：承久の乱 1221年)→(室町初期：南北朝の動乱)→(室町：応仁の乱 1467年)

[問題]

平安時代の地方の動きについて述べた文として最も適切なものを、次のア～エから選べ。

- ア 元の軍勢が、北九州に攻めてきた。
- イ 平将門が、関東で反乱を起こした。
- ウ シャクシャインが、松前藩と戦った。
- エ 織田信長が、長篠の戦いで武田氏を破った。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イ(平安中期：平将門の乱 935 年)→ア(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→エ(安土：長篠の戦い 1575 年)→ウ(江戸初期：シャクシャインの戦い 1669 年)

[問題]

平安時代の中ごろ、世の中が乱れたが、このころの地方の争乱のようすについて述べた文として正しいものはどれか、下のア～エから 1 つ選び、その記号を書け。

- ア 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任じられ、朝廷に抵抗する東北地方の蝦夷と戦った。
- イ 京都と吉野に 2 つの朝廷がならびたち、全国の武士は、2 つの勢力に分かれて戦った。
- ウ 京都で起こった戦乱をきっかけに、各地の守護大名が領地の拡大のために戦った。
- エ 関東では平将門が反乱を起こしたが、朝廷は武士の力をかりて、反乱をおさえた。

(三重県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ア(平安初期：桓武天皇は坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して蝦夷をうたせた)→エ(平安中期：平将門の乱 935 年)→イ(室町：南北朝の争乱 1336 年～1392 年)→ウ(戦国：1467 年の応仁の乱が始まり)

[問題]

一遍が布教していたころのできごとを，ア～エから選べ。

- ア 徳川氏が豊臣氏をほろぼした。
- イ 皇位をめぐって壬申の乱がおきた。
- ウ 九州北部に元軍が押し寄せた。
- エ 長州藩が外国船を砲撃した。

(北海道)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

時宗の一遍は，鎌倉時代。イ(飛鳥：壬申の乱 672 年)→ウ(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→ア(江戸：大阪の役 1614～1615 年)→エ(幕末：1863 年)

[問題]

足利尊氏が征夷大將軍になったころのできごととして最もよくあてはまるのは，ア～エのうちではどれか。

- ア 平将門の乱
- イ 島原・天草一揆
- ウ 応仁の乱
- エ 南北朝の内乱

(岡山県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ア(平安中期：平将門の乱 935 年)→(室町：足利尊氏が室町幕府を開く 1338 年)・エ(室町：南北朝の争乱 1336 年～1392 年)→ウ(室町：応仁の乱 1467 年)→イ(江戸：島原・天草一揆 1637 年)

[問題]

日本と明との間で勘合貿易が始まったころの日本国内のようすについて述べた文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書け。

- ア 戦いに鉄砲が使用され戦法にすぐれた武士が全国統一を進めた。
- イ 院政の実権をめぐる対立から内乱が起き、武士がはじめて政治の実権を握った。
- ウ 大名が2つに分かれて争い、勝利した大名が関東地方に幕府を開いた。
- エ 南北朝が統一され、北朝と南朝に分かれての内乱がおさまった。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

イ(平安末期：保元の乱 1156 年・平治の乱 1159 年)→エ(室町：足利義満の南北朝合一 1392 年)→(室町：足利義満の勘合貿易 1404 年)→ア(安土：織田信長は鉄砲を有効に活用)→ウ(江戸直前：関ヶ原の戦い 1600 年)

## 【】 武士の変化

### [問題]

次のア～エは武士がどのように変わっていったかをまとめたものである。年代の古い順に左から並べて書け。

ア 開発した領地を中央の貴族などの荘園とし、荘官となって勢力を築くようになった。

イ 石高で知行をあたえられ、それに応じた軍役が義務づけられた。

ウ 荘園領主の使者を追い出し、年貢をうばう悪党とよばれる武士があらわれた。

エ 地頭となった武士の中には、荘園の年貢を請け負う者もあらわれた。

(福島県)

### [解答欄]

[解答]ア→エ→ウ→イ

### [解説]

ア(平安後期：「荘園」「荘官」より判断)→エ(鎌倉：「地頭」より判断)→ウ(鎌倉後半～南北朝～室町：「悪党」より判断)→イ(桃山・江戸：「石高」より判断)

### [問題]

次のア～エは、武士による政治のようすについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

ア 大名を統制するために幕府は、親藩や譜代大名を関東や近畿地方などの重要な地域に、外様大名を江戸から遠い地域に配置した。また、武家諸法度を定め、参勤交代を義務づけた。

イ 幕府は将軍を補佐する役職として管領を設置し、有力な守護を任命した。また、地方機関として鎌倉には、関東の10か国を統治する鎌倉府が設置された。

ウ 将軍は家来となった御家人に、御恩として領地の支配を保障したり、守護や地頭に任命したりした。御家人は奉公として一族を率いて戦いに参加したり、京都などを警備したりした。

エ 下剋上の風潮のなかで、実力で領地を支配した戦国大名は、家臣や商工業者を集めて城下町をつくり政治や経済の中心とした。また、分国法という独自の決まりを定めるものもいた。

(東京都)

### [解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

【解説】

ウ(鎌倉：「御恩」「奉公」「守護や地頭」より判断)→イ(室町：「管領」「鎌倉府」より判断)→エ(戦国：「下剋上」「戦国大名」より判断)→ア(江戸：「親藩や譜代大名」「武家諸法度」「参勤交代」より判断)

【問題】

ア～ウを，時期の古い順に並べ，記号で答えよ。

ア 下剋上の風潮が広がり，地方の武士のなかには，実力で一国の支配者になる者もあった。

イ 元寇のための負担や，分割相続の繰り返しなどによって，御家人の生活は苦しくなった。

ウ 守護の多くは，権限が強まるなかで，国内の武士を従えて守護大名へと成長していった。

(静岡県)

【解答欄】

【解答】イ→ウ→ア

【解説】

イ(鎌倉：「元寇」より判断)→ウ(室町(南北朝)：「守護大名へと成長」より判断)

→ア(戦国：「下剋上」より判断)

【問題】

次のア～エのうち，鎌倉時代の武士のようすを述べた文を1つ選び，記号を書け。

ア 幕府によって強められた身分制度のもと，武士は名字・帯刀などの特権を認められた。

イ 地頭となった武士たちは，荘園や公領の土地や農民を支配するようになり，荘園領主としばしば対立した。

ウ この時代の守護の中には，領国内の武士を家来とし，一国全体の支配権を握ったことから，守護大名とよばれた者もいた。

エ 武士は，武士団をつくり，関東や瀬戸内海では，朝廷に反乱をおこす者もあらわれた。

(富山県)

【解答欄】

【解答】イ

【解説】

エ(平安中期：関東で平将門の乱 935 年，瀬戸内で藤原純友の乱 939 年)→イ(鎌倉：「地頭」

より判断)→ウ(室町(南北朝)：「守護大名」より判断)→ア(江戸：「名字・帯刀などの特権」より判断)

[問題]

建武の新政の崩壊後 60 年間にわたって南北朝の動乱が続いたが、これとかかわりの深い社会の動きについて述べた文として、最も適切なものを次のア～エから選べ。

- ア 有力農民は開発した土地を守るため、武装して武士団を形成した。
- イ 守護の権限が強められ、領国内の武士を従えて守護大名に成長した。
- ウ 下剋上の風潮が高まる中で、多くの守護大名がその地位を奪われた。
- エ 元寇での働きに対する恩賞が不十分で、多くの御家人が生活に困窮した。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]イ

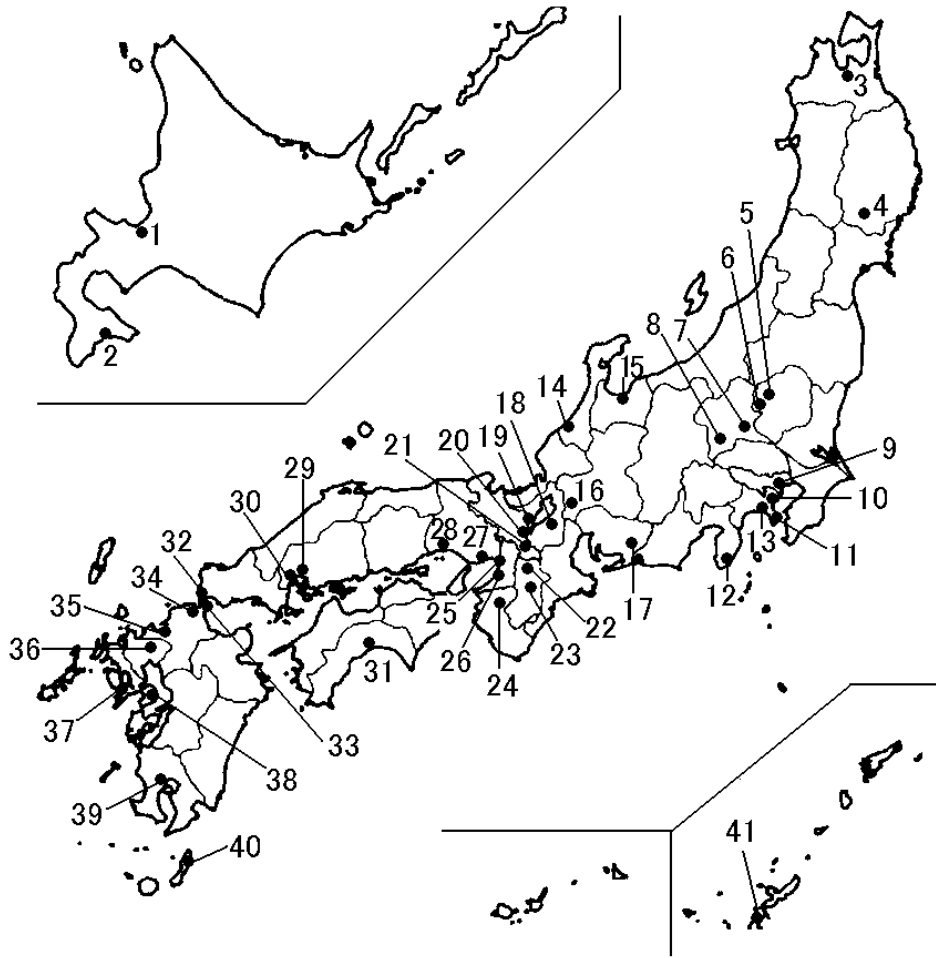
[解説]

ア(平安中期・後期：「武士団」より判断)→エ(鎌倉：「元寇」より判断)→イ(室町(南北朝)：「守護大名」より判断)→ウ(戦国：「下剋上」より判断)



## 【】 歴史地図

[要点]

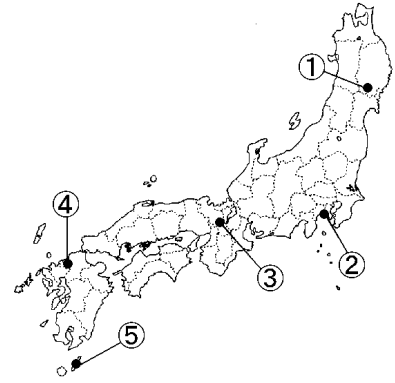


- 1 札幌(明治初期：開拓使)
- 2 函館(幕末：日米和親条約(1854年)・日米修好通商条約(1858年)で開港)
- 3 三内丸山遺跡(縄文時代の遺跡)
- 4 平泉(平安末期：奥州藤原氏の中尊等金胎堂)
- 5 日光(江戸初期：日光策所宮)
- 6 足尾銅山(明治：田中正造)
- 7 岩宿遺跡(旧石器時代の遺跡)
- 8 富岡(明治初期：官営模範工場の富岡製糸場)
- 9 江戸(江戸：江戸幕府)
- 10 横浜(幕末：日米修好通商条約で開港)
- 11 浦賀(幕末：ペリーの来航(1853年))
- 12 下田(幕末：日米和親条約で開港)
- 13 鎌倉(鎌倉：鎌倉幕府)
- 14 加賀(室町：加賀の一問一揆(1488年))

- 15 富山(大正：米騒動(1918年))
- 16 関ヶ原(桃山～江戸：関ヶ原の戦い(1600年))
- 17 長篠(安土：長篠の戦いで織田信長が武田氏を破る)
- 18 安土城(安土：織田信長)
- 19 比叡山延暦寺(平安初期：叡澄の天谷祭)
- 20 京都(平安：平安京／室町：室町幕府・金閣と銀閣／応仁の乱(1467年))
- 21 宇治(平安後期：平等院鳳凰堂)
- 22 奈良(奈良：平城京)
- 23 吉野(南北朝：後醍醐天皇が逃げ込む)
- 24 高野山金剛峯寺(平安初期：空海の真言宗)
- 25 大阪(桃山：豊臣秀吉が大阪城を築く／江戸：天下の台所／大塩の乱 1837年)
- 26 堺(室町～江戸初期：勘合貿易や南蛮貿易で栄えた)
- 27 兵庫(平安末期：平清盛の日宋貿易／江戸：日米修好通商条約(1858年)で開港)
- 28 姫路(桃山：姫路城)
- 29 広島(昭和：原爆の被害)
- 30 巖島神社(平安末期：平清盛)
- 31 高知(明治：自由民権運動・坂本退助の立志社)
- 32 下関(幕末：四国艦隊砲撃事件／明治：日清戦争の講和で下関条約)
- 33 壇ノ浦(鎌倉：壇ノ浦の合戦で平氏が滅亡)
- 34 北九州(明治：八幡製鉄所)
- 35 博多(弥生：金印の発見／鎌倉：元寇／室町～江戸初期：勘合貿易や南蛮貿易)
- 36 吉野ヶ里遺跡(弥生時代の遺跡)
- 37 長崎(江戸：出島でオランダと交易／昭和：原爆の被害)
- 38 島原・原城(江戸：島原・天草一揆(1637年))
- 39 鹿児島(戦国：ザビエルの来日(1549年)／幕末：イギリス艦隊の鹿児島砲撃／明治：西南戦争(1877年))
- 40 種子島(戦国時代：鉄砲伝来(1543年))
- 41 沖縄(室町：琉球王国／昭和：沖縄戦(1945年))

[問題]

図の●で示した①～⑤の場所のそれぞれについて、地名を a 群からそれぞれ 1 つずつ選べ。また、その地名にあてはまる説明文を、b 群の A～E からそれぞれ 1 つずつ選び、記号で答えよ。



(a 群)

博多 京都 種子島 平泉 鎌倉

(b 群)

- A 源頼朝は、この地を本拠地にして幕府をひらいた。
- B 1274 年、元軍はこの地に上陸し、幕府軍と戦った。
- C 奥州藤原氏は、この地を中心に栄え、中尊寺金色堂を建てた。
- D この地に漂着したポルトガル人によって鉄砲が伝えられた。
- E 794 年、桓武天皇は、この地に都を移し、平安京をつくった。

(熊本県)

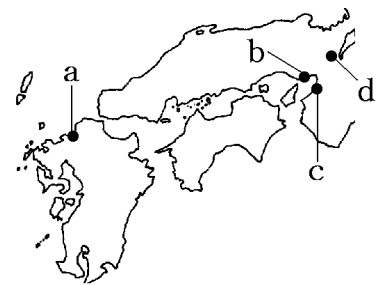
[解答欄]

①	②	③
④	⑤	⑥

[解答]① 平泉, C ② 鎌倉, A ③ 京都, E ④ 博多, B ⑤ 種子島, D

[問題]

右図の a～d は、京都、堺、博多、兵庫のいずれかを示している。また、次のあ～えの文は、a～dのいずれかに関する文である。a～d とそれに関する あ～えの文との組み合わせとして適切なものを、下のア～エの中から 2 つ選び、記号で答えよ。



- あ 集団戦法やすぐれた火器を使う元の軍勢に襲われた。
- い 勘合貿易や南蛮貿易で栄えたが、織田信長によって自治権が奪われた。
- う 平清盛によって港が修築され、中国船が直接入港できるようになった。
- え 足利義政によって、書院造の様式を取り入れた銀閣が建てられた。

ア a-あ イ b-い ウ c-う エ d-え

(静岡県)

[解答欄]

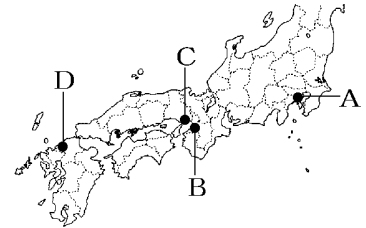
[解答]ア, エ

[解説]

aは博多で「あ」、bは兵庫で「う」、cは堺で「い」、dは京都で「え」

[問題]

次のア～エは、地図中で示したA～Dのいずれかの港や都市について述べたものである。Cにあてはまるものはどれか。ア～エのうちから1つ選び、その記号を書け。



ア 明との貿易や南蛮貿易で栄えたこの都市では、千利休らが活躍した。

イ 元と高麗の軍勢が襲来した湾にあるこの港は、のちに明との貿易で栄えた。

ウ 平清盛がこの港を整えて、さかんに中国(宋)との貿易を行った。

エ 文明導入の窓口となったこの都市には、新橋との間に初めての鉄道が開通した。

(岩手県)

[解答欄]

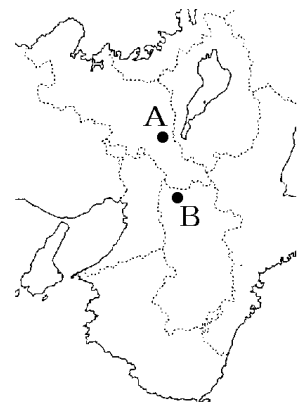
[解答]ウ

[解説]

Aは横浜でエ、Bは堺でア、Cは兵庫でウ、Dは博多でイ。

[問題]

地図のA、Bには、かつて都が置かれていた。それぞれの都の位置、名称、都が置かれていた時期にみられた政治の説明の組み合わせとして正しいものを、下の表のア～エから1つ選び、その記号を書け。



	位置	名称	都がおかれていた時期の政治の説明
ア	A	平城京	天武天皇は豪族への支配を強め、新しい政治のしくみをつくっていった。
イ	A	平安京	藤原氏は、摂政や関白として政治の実権をにぎり、摂関政治を行った。
ウ	B	平城京	聖徳太子は摂政として、蘇我氏とともに天皇中心の政治をめざした。
エ	B	平安京	唐・新羅との戦いに敗れた後に即位した天智天皇は、国内の政治に力を入れた。

(長崎県)

[解答欄]

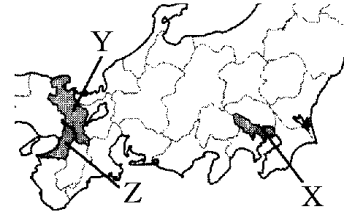
[解答]イ

[解説]

A は平安京， B は平城京である。

[問題]

江戸時代に三都とよばれた都市の中で，武家政治の中心である幕府の本拠地が置かれたことがない都市が1つある。その都市の名前を書け。また，その都市を含む都道府県を，右の略地図から1つ選び，記号で書け。



(山梨県)

[解答欄]

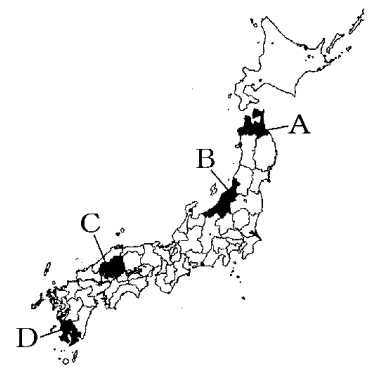
[解答]大阪， Z

[解説]

X の江戸には江戸幕府が， Y の京都には室町幕府が置かれた。

[問題]

右の地図を見て，明治から大正にかけて A～D の地域でおこった社会の動きについて適切なものを下のア～エから1つ選び，記号で答えよ。



ア A の地域では，民主化を求める自由民権運動がはじめておこった。

イ B の地域では，関東大震災で大きな被害を受けた。

ウ C の地域では，民営の八幡製鉄所が造られた。

エ D の地域では，政府に対する西南戦争がおこった。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]エ

## 【】 古代～近世の対外関係

### [要点]

弥生時代	倭の奴国の王：漢に使いを送り金印を授けられた(57)。 邪馬台国の卑弥呼：魏に使いを送った(239)(中国は魏呉蜀の三国時代)
古墳時代	倭の五王：朝鮮半島南部での軍事的地位を認めもらうため中国の南朝に使者渡来人が漢字や仏教，新しい技術などを伝える，百濟から仏教(538)
飛鳥時代 (593～)	遣隋使：聖徳太子が小野妹子を派遣(607)→隋が滅び唐が建国→第1回遣唐使(630) 白村江の戦い(663)：百濟を助けるため朝鮮半島に派兵，唐・新羅連合軍に大敗
奈良時代 (710～)	遣唐使：制度や文化を取り入れるため派遣→唐の影響(天平文化・正倉院(聖武天皇)) 中国の僧の鑑真は，苦難の末に来日し，仏教を広め，唐招提寺を建てる
平安時代 (794～)	叢澄と空海：唐に渡り仏教を学んで帰国(桓武天皇の時代) 遣唐使の停止(894)→国風文化，10世紀初期：唐滅亡，朝鮮でも新羅→高麗 日宋貿易：平清盛が兵庫の港を整備
鎌倉時代 (1185～)	フビライ・ハン：宋を滅ぼし国号を元とする，マルコ・ポーロ 元寇(1274・1281年の2度にわたって，北九州の博多に来襲)
室町時代 (1338～)	元→明，明は倭寇の取締りを日本に求める→足利義満が応じ，勘合貿易(1404) 琉球王国：尚氏が沖縄本島を統一(1429)，高麗→朝鮮(ハングル文字)
戦国時代 安土桃山	鉄砲伝来(1543)：種子島，キリスト教伝来(1549)：ザビエル→蘭貿易 豊臣秀吉の朝鮮侵略
江戸時代 (1603～)	朱印船貿易：東南アジアへ進出・日本町 鎖国(1639)：長崎の出島でのみ交易，オランダ・清とのみ交易 朝鮮の通信使：将軍の代わりごとに，幕府に使節を派遣・対馬藩 薩摩藩が琉球王国を征服，蝦夷地：シャクシャインの反乱・松前藩

### [年代暗記法]

弥生時代：剛な(57)る奴国王／卑弥呼より文(23)く(9)る

古墳時代：仏教伝来，その意味は(538)

飛鳥時代：群れな(607)して行く遣隋使／め(む)され(630)て唐へ遣唐使／む！無策(663)の白村江

平安時代：白紙(894)に返せ遣唐使

鎌倉時代：文永の役生きて帰る一人なし(1274)／一風灰(1281)に弘安の役

室町時代：勘合貿易人寄れよ(1404)

戦国安土：一期四散(1543)鉄砲伝来／以後よく(1549)発展キリスト教／異国に(1592)出兵文禄の役

江戸時代：一路鎖国(1639)

## 【】 古代

### [問題]

わが国は、古代から中国や朝鮮と深いかかわりがあった。次のア～エの説明文のうち、最も古い時期のものを1つ選べ。

ア 日本は、百済を助けるため朝鮮半島に大軍を送ったが、唐・新羅連合軍に大敗した。

イ 百済から朝廷に仏像や経典が贈られ、仏教が伝えられた。

ウ 日本は、宋や高麗と、商人を通じての交流は続けたが、正式な国交は結ばなかった。

エ 大和政権の大王は、朝鮮南部を軍事的に指揮する権利を求め、中国の南朝に使いを送った。

(福島県)

### [解答欄]

[解答]エ

### [解説]

エ(古墳：5世紀はじめから約1世紀の間、倭の五王が中国の南朝に使者を送った)→イ(古墳：百済から仏教が伝わる538年)→ア(飛鳥：白村江の戦い663年)→ウ(平安：11世紀後半から貿易、1167年に太政大臣になった平清盛も日宋貿易に力を入れた)

### [問題]

古墳時代の日本と中国の関係を示す文を、次のア～エの中から1つ選んで、その記号を書け。

ア 倭寇とよばれる海賊のとりしまりをきっかけに、明との貿易がはじまった。

イ 奴国の王が漢に使いを送り、皇帝から金印を授けられた。

ウ 朝鮮半島南部での軍事的地位を認めもらうため、南朝に手紙を送った。

エ 進んだ文化や制度を取り入れるために続けてきた遣唐使を停止した。

(茨城県)

### [解答欄]

[解答]ウ

### [解説]

イ(弥生：倭の奴国の王が漢に使いを送り金印を授けられる57年)→ウ(古墳)→エ(平安中期：遣唐使の停止894年)→ア(室町：勘合貿易1404年)

[問題]

聖徳太子が活躍していたころの東アジアの様子についての説明文として正しいものを、次のア～エから1つ選んで記号で書け。

- ア 朝鮮半島では、白村江の戦いがあった。
- イ 中国では、隋が強大な帝国を築いた。
- ウ 朝鮮半島では、高麗がほろび、かわって朝鮮国が建国した。
- エ 中国では、魏・呉・蜀の三国が戦っていた。

(福井県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

エ(弥生：邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使者を送る 239 年)→イ(飛鳥：593 年に聖徳太子が摂政になったが、その少し前の 589 年に隋が中国を統一、607 年に遣隋使を送った)→ア(飛鳥：白村江の戦い 663 年)→ウ(室町：倭寇との戦いで名をあげた李成桂が、1392 年に高麗を滅ぼして朝鮮を建国)

[問題]

十七条の憲法が定められたころの事象として正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 倭の奴の国王に金印がおくられた。
- イ 遣唐使の派遣が停止された。
- ウ 勘合貿易が始められた。
- エ 遣隋使が派遣された。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

十七条の憲法は、聖徳太子が 604 年に制定。

ア(弥生：倭の奴国の王が漢に使いを送り金印を受けられる 57 年)→エ(飛鳥：聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣 607 年)→イ(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→ウ(室町：足利義満が勘合貿易を開始 1404 年)



[問題]

次のア～ウの中から、小野妹子を中国に派遣した後の、日本と中国や朝鮮との関係を述べた文を1つ選び、記号で答えよ。

ア 中国や朝鮮半島から移り住んできた渡来人によって、漢字や儒教、仏教が伝えられた。

イ 大和政権の大王は、中国の皇帝の権威を借りて、朝鮮半島で優位な立場に立とうとした。

ウ 日本は、百済を救うために新羅・中国の連合軍と戦ったが敗れ朝鮮半島から退いた。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

イ(古墳：5世紀はじめから約1世紀の間、倭の五王が中国の南朝に使者を送った)・ア(古墳：渡来人の来日)→(飛鳥：遣隋使 607年)→ウ(飛鳥：白村江の戦い 663年)

[問題]

聖徳太子が活躍していたころの中国に関するできごととして正しいものを、次のア～エから1つ選び、符号で答えよ。

ア 殷の時代には、すぐれた青銅器や漢字のもとになった甲骨文字がつけられた。

イ 魏の皇帝は、邪馬台国の卑弥呼に対し、親魏倭王の称号と金印を授けた。

ウ フビライ・ハンは、都を大都に移し、国号を元と定めて皇帝になった。

エ 強大な帝国をつくりあげた隋は、日本からの遣隋使を受け入れた。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ア(紀元前16世紀ごろ黄河流域に殷がうまれる)→イ(弥生：邪馬台国の女王卑弥呼が、魏に使者を送る 239年)→エ(飛鳥：聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣 607年)→ウ(鎌倉：元寇 1274年・1281年)

[問題]

釈迦三尊像がつくられたころの外国との交流は何か。最も適当なものを、ア～エから1つ選べ。

[ 勘合貿易 南蛮貿易 遣隋使 朝鮮通信使 ]

(大分県)

[解答欄]

[解答]遣隋使

[解説]

釈迦三尊像は飛鳥時代の仏像で、聖徳太子が建てた法隆寺の中にある。

(飛鳥：聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣 607 年)→(室町：足利義満が明との間に勘合貿易を開始 1404 年)→(戦国～安土桃山：南蛮貿易)→(江戸：将軍が代わるごとに朝鮮から通信使という使節が訪れる)

[問題]

平安時代にかな文字が発明されたが、このころの国際関係を示すものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書け。

ア 遣唐使が派遣される。

イ 遣唐使の派遣が停止される。

ウ 日明貿易が始まる。

エ 朱印船貿易が終わる。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア(飛鳥：第一回遣唐使 630 年)→イ(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→(平安中期：国風文化)→ウ(室町：足利義満が明との間に勘合貿易を開始 1404 年)→エ(江戸初期：徳川家康が朱印船貿易を奨励)

[問題]

平清盛が行った貿易について述べた文として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、その記号を書け。

ア 正式な貿易船に勘合という合札の証明書を用いて、中国(明)との貿易を始めた。

イ 西国の大名や商人に海外への渡航を認める朱印状を与え、貿易の発展に努めた。

ウ 中国(宋)との貿易の利益に目をつけ、航路を整え、兵庫の港を整備した。

エ 九州の平戸や長崎などでポルトガルとの貿易を行い、鉄砲や火薬などを輸入した。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウ(平安末期：平清盛の日宋貿易)→ア(室町：足利義満の勘合貿易 1404年)→エ(戦国～安土桃山：南蛮貿易)→イ(江戸初期：徳川家康が朱印船貿易を奨励)

【】 中世

[問題]

鎌倉時代のできごとを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 尚氏が琉球王国を建てた。
- イ ルターによる宗教改革が始まった。
- ウ 中国で宋(南宋)がほろんだ。
- エ 蝦夷地でシャクシャインの戦いがおこった。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウ(鎌倉：フビライは中国の宋を滅ぼして国号を元とした)→ア(室町：15世紀はじめに尚氏が沖縄本島を統一して琉球王国を建てる)→イ(戦国：ルターの宗教改革 1517年)→エ(江戸初期：シャクシャインの戦い 17世紀の後半)

[問題]

明との国交を結んだのは足利義満であった。このころのわが国と明とのかかわりについて述べているものはどれか。1つ選び、その記号を書け。

- ア 最澄と空海は、それぞれが仏教の新しい宗派をわが国に伝えた。
- イ 講和が結ばれ、将軍の代わりごとに通信使が来る慣例となった。
- ウ 大陸の沿岸をおそう倭寇に苦しみ、わが国に取りしまりを求めた。
- エ 朱印状を与えて海外への渡航を許したため、各地に日本町ができた。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ア(平安初期：桓武天皇の時代)→ウ(室町：倭寇→勘合貿易の開始 1404年)→エ(江戸初期：朱印船貿易)・イ(江戸初期：朝鮮から通信使)

[問題]

観阿弥と世阿弥は能を大成したが、その時期に最も近いできごとを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 足利義満は、勘合という合札の証明書を用いた貿易を開始した。

イ 進んだ制度や文化を取り入れるため、多くの留学生や僧が中国に渡航した。

ウ 平清盛が中国との貿易に目をつけ、航路を整え兵庫の港を整備した。

エ マルコ・ポーロが日本をジパングとしてヨーロッパに紹介した。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

室町幕府の三代将軍の足利義満の保護を受け、観阿弥・世阿弥は能を大成した。

イ(飛鳥・奈良・平安中期：遣隋使→遣唐使)→ウ(平安末期：平清盛の日宋貿易)→エ(鎌倉：マルコ・ポーロは元のフビライに仕えた)→ア(室町：足利義満の勘合貿易 1404年)

[問題]

次のうち、「世阿弥らが能を大成した」のと最も近い時期のできごとはどれか。

ア アイヌの人々は、シャクシャインを指導者として松前藩に対し蜂起したが、しずめられた。

イ オランダ商館長は、海外の事情を書いた報告書を、将軍に差し出すよう命じられた。

ウ 尚氏は、沖縄本島を統一して琉球王国を築き、首里を都として独自の文化を発展させた。

エ イギリス艦隊は、生麦事件に対する報復として鹿児島を砲撃し、薩英戦争が起こった。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウ(室町：尚氏が沖縄本島を統一 15世紀はじめ)→イ(江戸初期)→ア(江戸初期)→エ(幕末)

【】 近世

【問題】

朱印船貿易と関係がある文を，次のア～エから選び，記号で答えよ。

- ア 倭寇の船と区別するために，合い札(割札)を用いた。
- イ 大名や大商人に海外渡航の許可をあたえ，貿易をすすめた。
- ウ オランダ船や中国船に対し，長崎に限って貿易を認めた。
- エ 大輪田泊(兵庫の港)を整備し，宋(中国)との貿易を進めた。

(山口県)

【解答欄】

【解答】イ

【解説】

エ(平安末期：平清盛の日宋貿易)→ア(室町：足利義満の勘合貿易 1404 年)→イ(江戸初期：朱印船貿易)→ウ(江戸初期：鎖国後の長崎での貿易)

【問題】

日本と深い交流のあったオランダとの関係について，最も適切に述べているものを，次のア～エの中から 1 つ選び，その記号を書け。

- ア 安土桃山時代に，平戸などに来港し，南蛮貿易を行った。
- イ 江戸時代に，長崎の出島で貿易を行った。
- ウ 明治時代に，ロシアの進出に対抗するために同盟を結んだ。
- エ 昭和時代に，イタリアとともに三国同盟を結んだ。

(和歌山県)

【解答欄】

【解答】イ

【解説】

アはポルトガルやスペイン。イはオランダ。ウはイギリス。エはドイツ。

【】 総合

[問題]

奈良時代から平安時代までの間に起こったできごととして最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

ア 倭の奴国の王は、漢に使いを送り、皇帝から金印を授けられた。

イ 中国の僧鑑真は、苦難の末に来日し、仏教を広めた。

ウ イエズス会により、キリスト教が伝えられ宣教師がつぎつぎと来日した。

エ 将軍が代わるごとに通信使がおとずれ、対馬藩が、国交の実務を担当していた。

(三重県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア(弥生:倭の奴国の王が漢に使い 57年)→イ(奈良:仏教の戒律を伝えるために鑑真が来日)→ウ(戦国:イエズス会のザビエルが来日 1549年)→エ(江戸初期:朝鮮から通信使)

[問題]

次のA～Fを、時代の古い方から順に並べよ。

A〔政治〕太閤検地を行う 〔外交〕南蛮貿易を行う

B〔政治〕墾田永年私財法を出す 〔外交〕遣唐使

C〔政治〕参勤交代の制度をつくる 〔外交〕鎖国の間も貿易を行う

D〔政治〕執権政治を行う 〔外交〕文永の役が起こる

E〔政治〕摂関政治を行う 〔外交〕宋と貿易を行う

F〔政治〕南朝と北朝を統一する 〔外交〕明と貿易を行う

(福岡県)

[解答欄]

[解答]B→E→D→F→A→C

[解説]

B(奈良)→E(平安)→D(鎌倉)→F(室町)→A(桃山)→C(江戸)

[問題]

中国と日本との関係について、次のア～エのできごとを年代の古い順に並べかえ、その順に記号で書け。

ア 倭寇と区別をするために、勘合という合い札の証明書を用いて、貿易を行った。

イ 日本は、唐の制度や文化を取り入れようと、遣唐使をたびたび送った。

ウ 倭の奴国の王が漢に使いを送り、皇帝から「漢委奴国王」の金印を授けられた。

エ 鎖国下でも、この国の船が長崎に入港し、生糸や絹織物などの品物を日本にもたらした。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→ア→エ

[解説]

ウ(弥生：57年)→イ(飛鳥・奈良・平安中期：630年～894年)→ア(室町：足利義満が勘合貿易を開始1404年)→エ(江戸：鎖国の完成1639年)

[問題]

次のできごとを古い順にならべよ。

ア 元が2度にわたり日本に襲来した。

イ 小野妹子らが隋に派遣された。

ウ 最澄と空海が唐に渡り仏教を学んだ。

エ 平清盛が宋との貿易で利益をあげた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→エ→ア

[解説]

イ(飛鳥：聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣607年)→ウ(平安初期：710年に平安京遷都を行った桓武天皇の時代)→エ(平安末期：1167年に太政大臣になった平清盛の日宋貿易)→ア(鎌倉：元寇1274年・1281年)



[問題]

室町時代よりも前におきたできごとをア～エから3つ選び、年代の古い順に並べよ。

ア 朝鮮半島の百済から、わが国の朝廷に仏像と仏教の経典がもたらされた。

イ 中国から、倭の奴国の王に金印がおくられた。

ウ 幕府は、オランダ船と中国船に、長崎での貿易を許可した。

エ 平清盛は、瀬戸内海の航路を整備し、中国との貿易を行った。

(北海道)

[解答欄]

[解答]イ→ア→エ

[解説]

イ(弥生：57年)→ア(古墳：仏教伝来 538年)→エ(平安末期：1167年に太政大臣になった平清盛の日宋貿易)→ウ(江戸初期：鎖国の完成 1639年)

[問題]

次のア～エを古い順に並べよ。

ア 長崎に人工の島(出島)が作られた。出島には外国人が住み、貿易に従事した。

イ 将軍足利義満が中国と貿易を行ったときに、正式な貿易船であることの証明として勘合が使用された。

ウ 聖武天皇の時代に贈られたものを正倉院に収納した。

エ ザビエルは宣教師として来日した。この頃からスペイン人、ポルトガル人が日本に現れ、鉄砲やキリスト教が各地にもたらされた。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

[解説]

ウ(奈良：遣唐使が持ち帰った宝物を正倉院に収納)→イ(室町：足利義満が勘合貿易を開始 1404年)→エ(戦国：鉄砲伝来 1543年、ザビエルの来日 1549年)→ア(江戸：鎖国の完成 1639年)

[問題]

A～E を時代の古いものから順に並べ、その符号を書け。

- A 幕府により鎖国政策がとられていたが、中国や朝鮮との交流は続いていた。
- B 中国や朝鮮半島から移住した渡来人により、漢字や仏教、新しい技術などが伝えられた。
- C 宋にわたった僧によって新しい仏教が伝えられ、武士の間に広まった。
- D 遣唐使が停止され唐との正式な国交がなくなり、文化の国風化が進んだ。
- E 日露戦争における日本の勝利は、アジア諸国の民族独立の動きに影響を与えた。

(石川県)

[解答欄]

[解答]B→D→C→A→E

[解説]

B(古墳：朝鮮半島から渡来人が移住)→D(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→C(鎌倉：鎌倉仏教の中の禅宗)→A(江戸初期：鎖国の完成 1639 年)→E(明治：日露戦争 1904 年)

## 【】 蝦夷・琉球・朝鮮史

### [問題]

8～9世紀の東北地方について述べた文として最も適当なものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

ア 松前氏がアイヌの人たちとの取引を独占し、利益を得た。

イ 朝廷は、東北地方の蝦夷に対してしばしば大軍を送り、その勢力を広げた。

ウ 平泉を根拠地とした奥州の豪族藤原氏は、砂金や馬などの産物によって栄えた。

エ 日本海側や太平洋側の海運が発達し、東北地方の産物が大阪や江戸に運ばれた。

(島根県)

### [解答欄]

[解答]イ

### [解説]

東北地方の人々は、奈良時代ぐらまでは、<sup>えみし</sup>蝦夷とよばれ異民族あつかいにされてきた。奈良時代の8世紀ごろ、蝦夷の社会でも有力な豪族が生まれ、8世紀の終わりに蝦夷の反乱が起こるようになってきた。794年に平安京に都を移した<sup>かんむ</sup>桓武天皇は、<sup>さかのうえのたむらまろ</sup>坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷の指導者アテルイの反乱をおさえさせ、9世紀の初めまでには、東北地方のほとんどを律令国家の支配下においた。11世紀後半には、源義家が東北地方の大きな戦乱をしずめたが、その後、<sup>おうしゅう</sup>奥州藤原氏が3代100年間にわたり、<sup>ひらいづみ</sup>平泉を中心に栄えた。浄土信仰の影響を受けた平泉の中尊寺金色堂は有名である。北方との交易や砂金の産出で栄えた奥州藤原氏は、<sup>みなものよりとも</sup>源頼朝によって滅ぼされた。イ(平安時代初期)→ウ(平安時代後期)→ア・エ(江戸時代)

### [問題]

ロシアの使節が根室に来て、漂流民をとどけ、通商を求めたのは、次のどの時期におこったできごとか。正しいものを、下のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

- ① 現在の北海道(蝦夷地)は、古代において律令国家の支配が及んでいなかった。この地では古くからアイヌ民族が狩猟・漁業や交易を行っていた。
- ② 中世には、本州から蝦夷地に渡った人びと(和人)が、アイヌの人たちを圧迫した。15世紀には、アイヌの人たちが大首長を中心に蜂起した。
- ③ 蝦夷地の南部に領地をもつ松前藩は、アイヌの人たちとの取引を独占し大きな利益を得た。17世紀後半、シャクシャインを中心とした蜂起があった。
- ④ 日米和親条約が結ばれ、開港することが決まった蝦夷地の函館では、アメリカ船に食料・水・石炭などを提供した。
- ⑤ 蝦夷地が北海道と改められ西洋技術を取り入れて開拓事業が始まった。そして、品種の改良などにより、稲作も少しずつ広まった。

[ア ①と②の間 イ ②と③の間 ウ ③と④の間 エ ④と⑤の間]

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

現在の北海道は、明治時代より前は蝦夷とよばれアイヌ人が生活しており、朝廷・幕府の支配は、そのほとんどの土地におよんでいなかった。江戸時代の初期、蝦夷地南部に領地をもつ松前藩は、アイヌ人との取引を独占し暴利をむさぼっていた。これに対して、アイヌ人は17世紀の後半シャクシャインを指導者として戦いを起こした。松前藩は幕府に助けを求めて、ようやくこれをしずめた。江戸時代18世紀後半、松平定信が寛政の改革を行っていたころ、ロシアの使節が根室に来て、漂流民をとどけ、通商を求めたが、幕府はこれを断った。ロシアの接近を警戒した幕府は、間宮林蔵らに蝦夷地や樺太を探検させた。明治時代になって、札幌に開拓使という役所を設置し、屯田兵などを使って北海道の開拓を急いだが、これは、ロシアより先にこの地をおさえるためであった。

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べよ。

- ア 琉球は中国との貿易を継続したまま、薩摩藩の支配下に入った。
- イ 日本は軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して、沖縄県を設置した。
- ウ 尚氏が沖縄の3つの王国を統一して琉球王国を建て、首里を都とした。
- エ 日本は琉球を日本の領土として確定しようとし、琉球藩を設置した。

(北海道)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→エ→イ

[解説]

沖縄では、日本の室町時代、15世紀はじめに尚氏が沖縄本島を統一して琉球王国を建て首都の首里に首里城を築いた。琉球王国は、日本や中国・朝鮮、東南アジアの国々を相手に中継貿易を行い、海上交通の要衝として繁栄した。江戸時代になって、17世紀の初め、琉球は薩摩藩に征服され、薩摩藩の支配下にはいった。薩摩藩は、年貢米を取り立てるなど、きびしく監督を行い、琉球王国の中国に対する朝貢貿易を継続させて大きな利益を横取りした。琉球王国は、国王や日本の将軍の代わりごとに、江戸に使節を派遣した。明治になって、日本は琉球王国を併合して琉球藩とし、さらに、軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して、沖縄県を設置した。

[問題]

次のできごとを古い順に並べよ。

- ア 薩摩藩の島津氏による琉球支配がはじまった。
- イ アメリカ合衆国の統治が終わり、沖縄が日本に返還された。
- ウ 尚氏によって琉球が統一された。
- エ 琉球藩が廃止され沖縄県がおかれた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→エ→イ

[問題]

琉球王国や沖縄について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 江戸時代、琉球は国王や将軍の代わりごとに、幕府に使節を派遣した。
- イ 明治政府は1872年に琉球藩を置き、その後、軍隊の力を背景にして、琉球藩を廃止して沖縄県を設置した。
- ウ 太平洋戦争における沖縄戦でははげしい戦闘が行われ、子どもや学生をふくめ多数の犠牲者を出した。
- エ 沖縄は、サンフランシスコ平和条約調印とともにアメリカから返還されたが、その後もアメリカ軍基地は残された。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

太平洋戦争における沖縄戦でははげしい戦闘が行われ、子どもや学生をふくめ多数の犠牲者を出した。戦後、日本はアメリカの占領下におかれた。1951年のサンフランシスコ平和条約によって独立を回復したが、沖縄はアメリカの施政権下におかれることになった。1972年に、沖縄がアメリカから返還された。

[問題]

沖縄の歴史について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 15世紀はじめ、尚氏が琉球王国を建て、中継貿易に活躍した。
- イ 江戸時代には、中国と薩摩藩の両方に従い、幕府に使節をつかわした。
- ウ 明治時代はじめ、政府は軍隊の力を背景に、日本領に組み入れた。
- エ サンフランシスコ平和条約が結ばれたことにより、日本への復帰を果たした。

(島根県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

平清盛が太政大臣になったころの朝鮮半島のような様子について述べているものを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 高句麗が勢力を伸ばし、百済と新羅もできた。
- イ 新羅が勢力を伸ばし、百済や高句麗を滅ぼした。
- ウ 新羅が滅んだ後にできた高麗が勢力を伸ばした。
- エ 高麗が滅んだ後にできた朝鮮が勢力を伸ばした。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

古墳時代のころ、朝鮮半島では高句麗、新羅、百済の3国が、互いに勢力を争っていた。大和政権は、百済や、小国が分裂していた朝鮮半島南部の伽耶(任那)地方の国々と結んで、高句麗や新羅と戦った。7世紀の初め、中国では隋にかわって唐が中国を統一したが、この唐と結んだ新羅は、高句麗や百済を滅ぼした。大化の改新を行った甲斐元皇子は、百済を助けるために大軍を送ったが、663年の白村江の戦いで敗れた。その後、新羅は、唐の軍隊をも追い出して朝鮮半島を統一した。平安時代の半ば、894年に遣唐使が廃止されたが、そのわずか後の10世紀初めに唐は滅亡した。そのすぐ後、新羅が滅んで高麗がこれにかわった。その後、高麗は約400年間続いたが(日本では平安→鎌倉→室町)、室町時代に足利義満が明との間に勘合貿易を始めたころに、倭寇を撃退して名声をあげた李成桂が高麗を倒して朝鮮国を建国した。朝鮮語を書き表すハングルという文字がつくられた。

[問題]

わが国と朝鮮とのかかわりについて述べた①～④の文について、年代の古い順に並べ替えよ。

- ① 江華島事件をきっかけに、日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。
- ② 将軍の代が変わるごとに就任祝いの外交使節として、朝鮮通信使がやってきた。
- ③ 大韓民国と日韓基本条約を結び、国交を正常化した。
- ④ 朝鮮戦争がおこると、特需が生まれ日本経済は好景気となり、経済復興が進んだ。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]②→①→④→③

[解説]

室町時代のころに高麗を滅ぼして 1392 年に建国された朝鮮は、1910 年に日本に併合されるまで約 500 年間続いた。この間、16 世紀末に豊臣秀吉の朝鮮侵略があったが、江戸時代の初め、徳川家康の時代に日本と講和を結び、将軍の代が変わるごとに就任祝いの外交使節として、朝鮮通信使がやってきた。

日本が明治維新によって、近代化を始めた後、両国の関係は大きく変わっていった。明治初期に、朝鮮の開国を武力でせまろうとする征韓論が西郷隆盛らによって主張されたが、1875 年の江華島事件をきっかけに、日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。その後、日本と中国は朝鮮に対する主導権をめぐる対立し、1894 年に東学を信仰する朝鮮農民が起こした甲午農民戦争をきっかけにして、日清戦争がおこり、日本は勝利をおさめた。この当時、ロシアは南下政策をとっており、しだいに、中国や朝鮮へ勢力をのぼしつつあった。朝鮮がロシアの手に落ちれば、対馬海峡を隔てたすぐそばにある日本が危うくなると考えた日本は、1902 年にイギリスと日英同盟を結び、1904 年に日露戦争のやむなきにいたった。日本は、日露戦争後、韓国統監府を置いて朝鮮の植民地化を進めた。初代の韓国統監になった伊藤博文が、朝鮮人の安重根に暗殺された後、1910 年に韓国併合を行った。学校では朝鮮史を教えることを禁じ、日本史や日本語を教えて、日本人に同化させる教育をおこなった。また、朝鮮の人々の姓名を、日本式に改めさせる創氏改名をおし進めた。日本の支配は太平洋戦争に日本が敗れるまで続いた。

朝鮮は、日本の敗戦により植民地から解放されたが、北緯 38 度線より北をソ連に、南をアメリカに占領され、1948 年には、北に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が、南に大韓民国(韓国)がつけられた。1950 年、北朝鮮が韓国に侵攻して朝鮮戦争が始まった。日本は、1965 年に大韓民国と日韓基本条約を結び、国交を正常化した。

【】 時代区分

[問題]

略年表の(a)と(b)にあてはまることばを，それぞれ書け。

※各時代の幅は，実際の各時代の長さとは関係がない。

時代区分	古代		中世				近代			現代
	奈良	平安	鎌倉	(b)	戦国	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和

南北朝

(岐阜県)

[解答欄]

(a)	(b)
-----	-----

[解答](a) 近世 (b) 室町

[解説]

社会のしくみの特徴によって時代を大まかに区分すると，  
 原始(縄文・弥生・古墳)→古代(飛鳥・奈良・平安)→中世(鎌倉・室町)→近世(安土桃山・江戸)→  
 近代(明治・大正・昭和(戦前))→現代(昭和(戦後)・平成)となる。

[問題]

我が国の時代を，下の表のようにA～Cの3つのグループに分けた。これに関する次の各問いに答えよ。

	時代	区分のしかた
A	縄文，弥生，古墳	文化の特徴による区分
B	奈良，平安，鎌倉，室町，安土桃山，江戸	政治の中心地による区分
C	明治，大正，昭和，平成	[ ]による区分

- (1) 表中の[ ]にあてはまる語句を書け。
- (2) 下の①～③の文は，それぞれ表中のいずれかの時代の様子を説明したものである。その時代を含むグループを，A～Cから1つずつ選び，記号で書け。
- ① 太陰暦(旧暦)から太陽暦にかわり，1週間を7日，日曜日は休日と定められた。
  - ② 稲作とともに金属器が伝わったことにより，社会のしくみが大きく変わっていった。
  - ③ 商人や手工業者は，同業者の組合である座をつくり，寺社などの保護を受けていた。

(山梨県)

[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
-----	------	---	---

[解答](1) 年号(元号) (2)① C ② A ③ B



【解説】

- (2)① 太陽暦が採用されたのは明治初期。
- ② 稲作・金属器が伝わったのは縄文時代末期～弥生時代
- ③ 座は室町時代の商人や手工業者の同業者の組合。

【問題】

古代、中世、近世などという時代の分け方は、どのような点に着目して分けられているか。  
次のア～エの中から1つ選べ。

- ア 政権のおもな所在地によって分けられている。
- イ 社会のしくみの特徴によって分けられている。
- ウ 西暦年の100年を単位にして分けられている。
- エ 天皇の一代ごとに分けられている。

(福島県)

【解答欄】

【解答】イ

【問題】

時代区分には、古代、中世のように、社会のしくみの特徴によって区分する方法や、奈良時代、江戸時代のように、その時代の( )によって区分する方法などがある。

(岡山県)

【解答欄】

【解答】政治の中心地

【問題】

奈良～江戸時代を右の2つに分けた。AとBの違いについて、「政治の実権」という語句を必ず使って書け。

(山梨県)

【解答欄】

【解答】政治の実権が主に、aでは(天皇や)貴族にあり、bでは武士にあった。

A	奈良，平安
B	鎌倉，室町，安土桃山，江戸

[問題]

次のうち、中世とは無関係のことがらはどれか。

[ 後醍醐天皇 御成敗式目 絵踏 雪舟 ]

(青森県)

[解答欄]

[解答]絵踏

[解説]

御成敗式目(中世・鎌倉時代)→後醍醐天皇(中世・建武の新政)→雪舟(中世・室町)→絵踏(近世・江戸時代)

[問題]

「北条政子が御家人を集めて言った。…亡き頼朝公が、朝廷の敵を征伐して幕府を開いて以来、その御恩は、山よりも高く海よりも深いはずで。それに報いようとする皆の気持ちが浅いはずはないでしょう。名を惜しむものは敵と戦い、三代の将軍のあとをしっかりと守りなさい。」は、どの時代のできごとか。次の区分から1つ選べ。

[ 古代 中世 近世 近現代 ]

(秋田県)

[解答欄]

[解答]中世

[解説]

北条政子のこの発言は、鎌倉時代(中世)の承久の乱(1221年)のときのものである。

[問題]

1221年は何世紀にあたるか。数字で書け。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]13世紀

[解説]

世紀は100年を1つの単位として区切ったものである。1年～100年を1世紀、101年～200年を2世紀という。1221年は1201～1300年の間にあるので13世紀である。また、例えば1600年は1501～1600年の間にあるので16世紀である。

[問題]

紀元前 776 年は、紀元前何世紀か、書け。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]紀元前 8 世紀

[印刷／他の PDF ファイルについて]

※ このファイルは、FdData 入試社会歴史(6,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 入試社会歴史は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData 入試社会・入試理科全分野の PDF ファイル、FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/dan/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイル(各教科約 1800 ページ以上)を自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

RunFdData 【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWds.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】 ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発】 (092) 404-2266  
<http://www.fdtype.com/dat/>